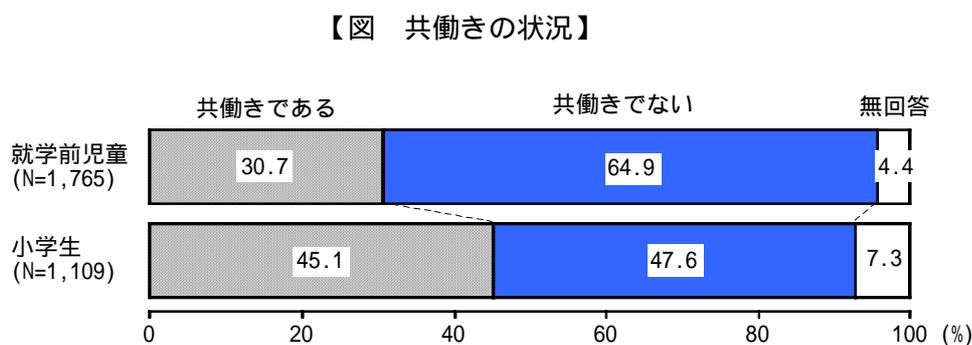
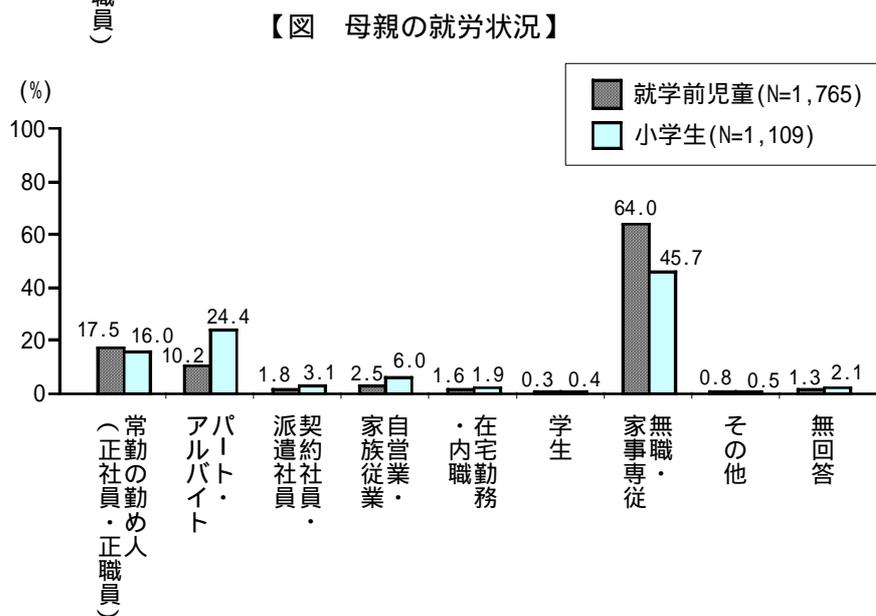
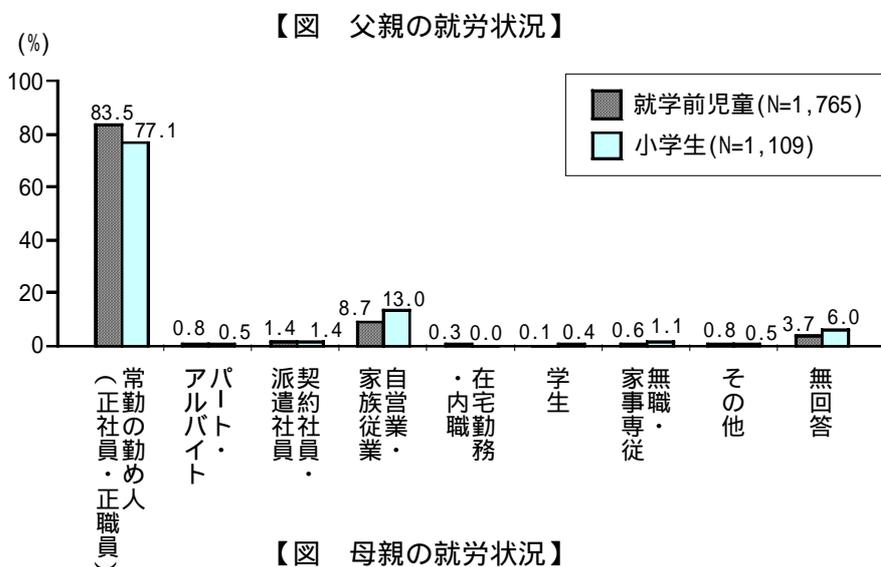


## ・ 調査結果

## 調査結果

### 1. 父母の就労状況

#### (1) 父母の就労形態 (問3)



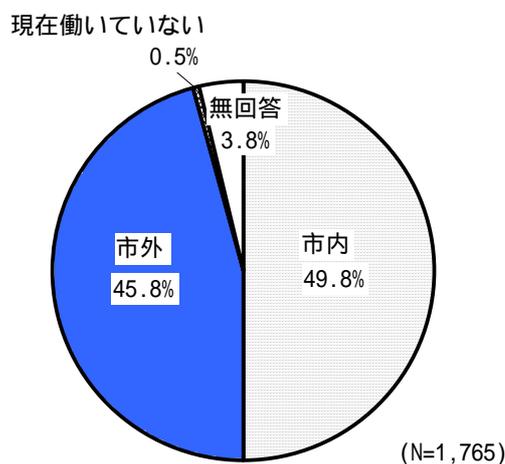
父親の就労状況をみると、就学生児童では「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 83.5% を占め、次いで「自営業・家族従業」（8.7%）などとなっている。小学生の父親においても「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 77.1% と最も多く、次いで「自営業・家族従業」が 13.0% となっている。

母親については、就学前児童では「無職・家事専従」が 64.0% を占め、就労している割合は 30% 台となっている。一方、小学生の母親では過半数（51.4%）が就労しており、勤務形態として最も多いのは「パート・アルバイト」で 24.4% となっている。

また、共働きをしている家庭は、就学前児童が 30.7% であるのに対し、小学生では 45.1% と高くなっている。

## （２）主な保育者の就労場所（就学前 問 7）

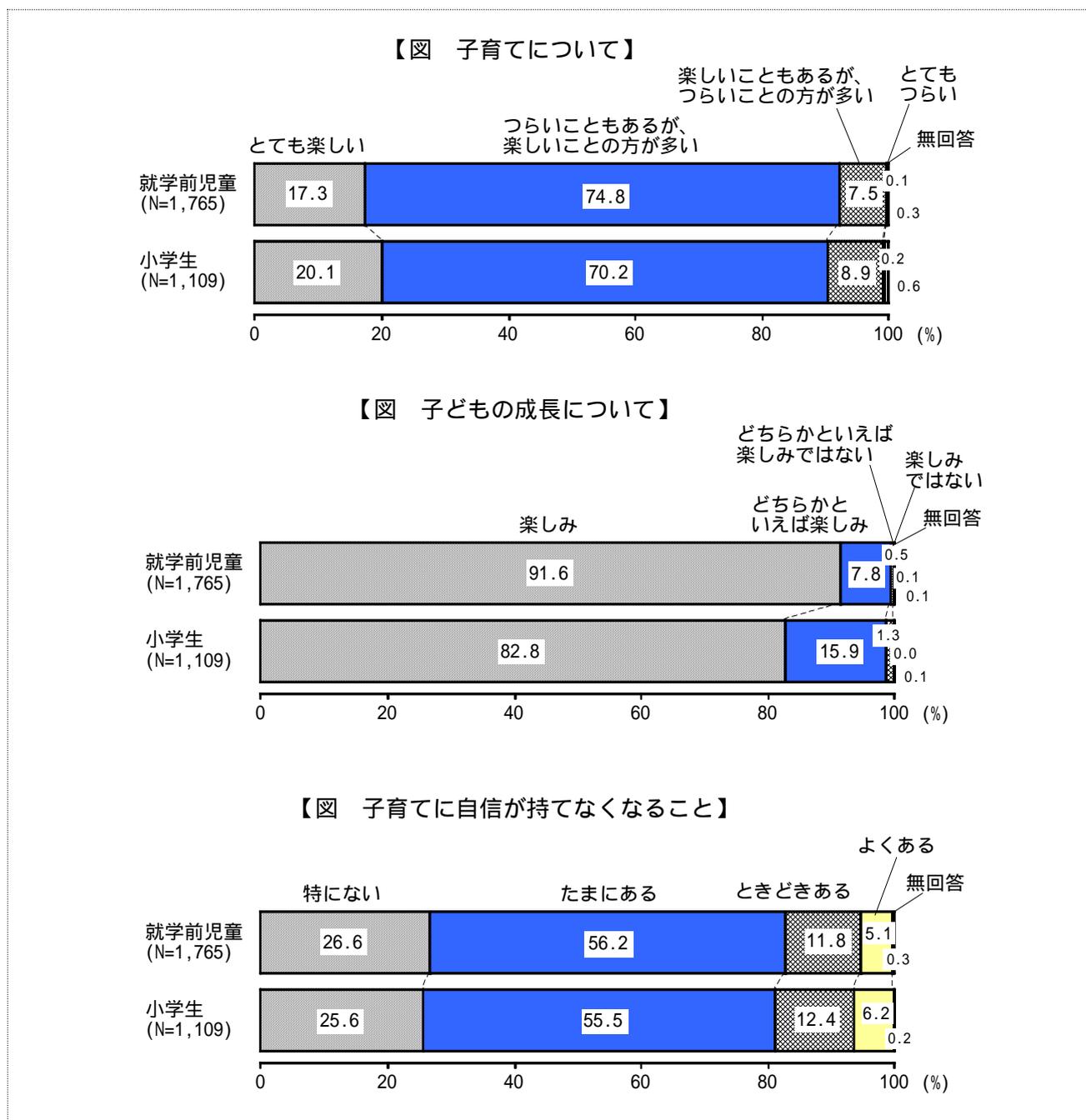
【図 主な保育者の就労場所】



小学生の主な保育者の勤務地をみると、「市内」が約 50% (49.8%) を占め、「市外」(45.8%) より若干多くなっている。

## 2. 日頃の子育ての状況について

### (1) 日頃の子育てに対する意識(問9)

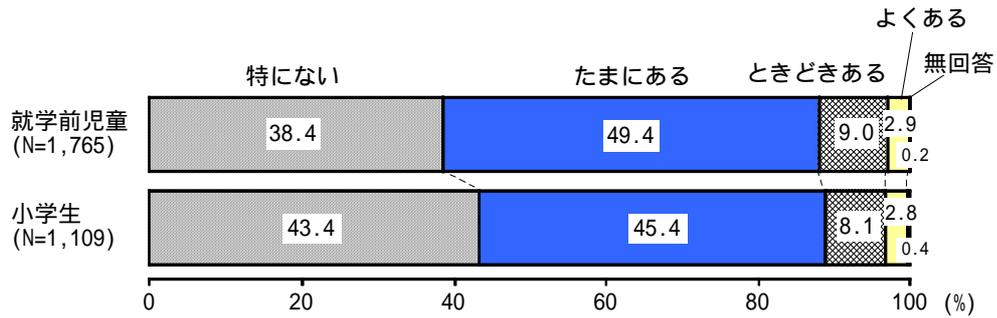


子育てについてたずねたところ、就学前児童（92.1%）、小学生（90.3%）ともに、「楽しい」（「とても楽しい」「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の合計）が90%以上を占めている。

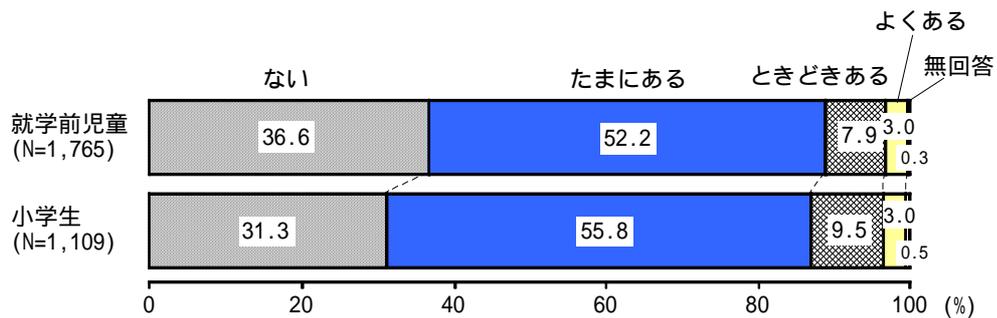
子どもの成長については、就学前児童（99.4%）、小学生（98.7%）ともに、「楽しみ」（「楽しみ」「どちらかといえば楽しみ」の合計）が98～99%を占めている。

また、子育てに自信が持てなくなることの有無についてみると、就学前児童（82.8%）、小学生（81.1%）ともに、プラス意識（「特にない」「たまにある」の合計）が80%以上を占めている。

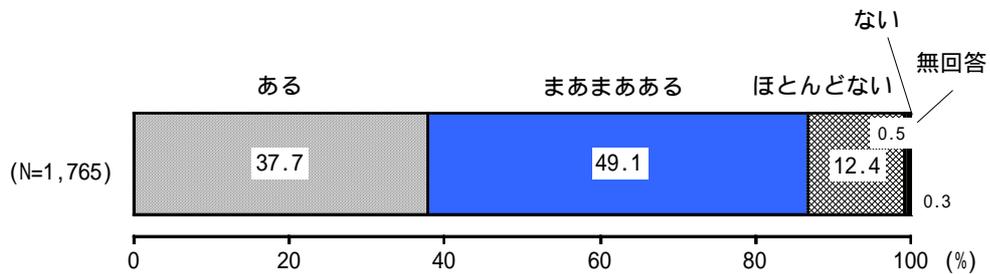
【図 子育てが嫌になること】



【図 子どもをたたいてしまうこと】



【図 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間の有無 (就学前児童)】

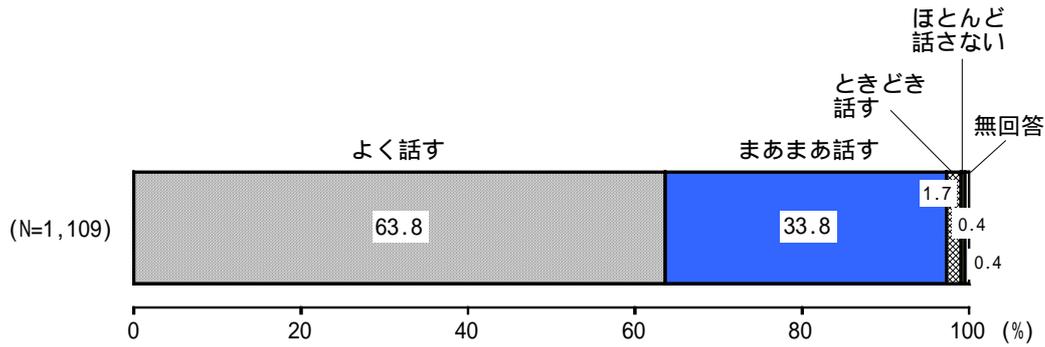


子育てが嫌になることの有無については、就学前児童(87.8%)、小学生(88.8%)ともに、プラス意識(「特にない」「たまにある」の合計)が87~88%を占めている。

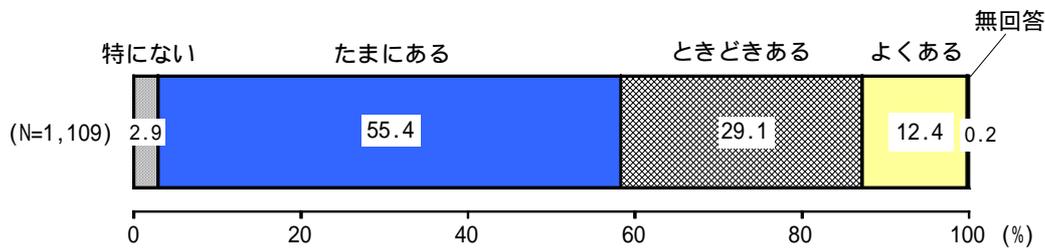
子どもをたたいてしまうことの有無については、就学前児童、小学生ともに、「たまにある」が過半数を占め、「ない」とあわせると87~88%を占める。

就学前児童の保護者に子どもとゆったりした気分で過ごす時間の有無をたずねたところ、「まあまあある」が49.1%と半数近くを占め、「ある」(37.7%)とあわせると86.8%を占める。

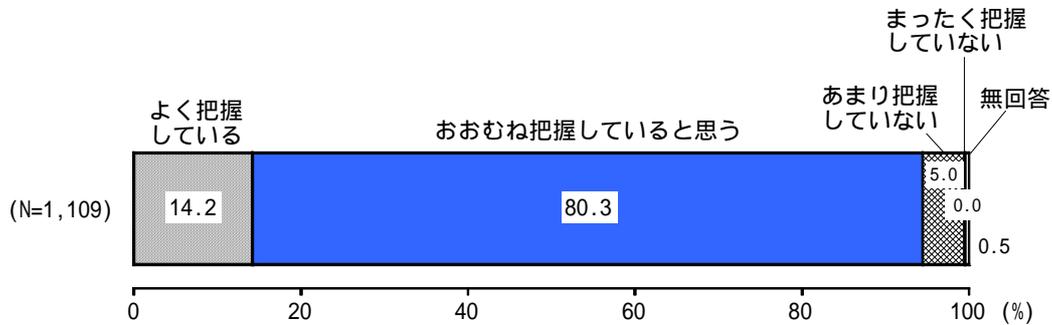
【図 子どもと話す頻度（小学生）】



【図 しつけのために厳しくしかること（小学生）】



【図 子どもの考えていることや、家庭外での過ごし方の把握状況（小学生）】



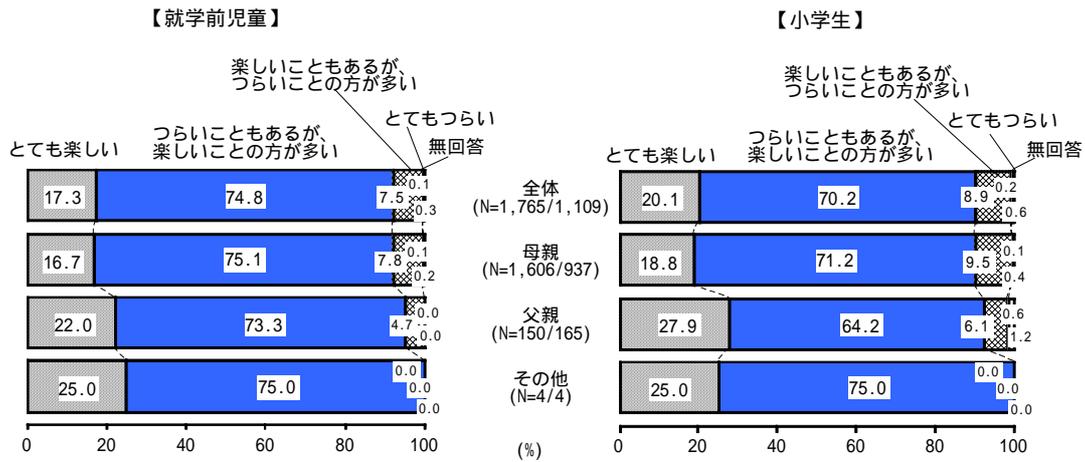
小学生の子どもと話す頻度についてみると、「よく話す」が63.8%を占め、「まあまあ話す」（33.8%）と合わせると97.6%を占める。

小学生の子どもについて、しつけのために厳しくしかることの有無をみると、「たまにある」が55.4%と過半数を占め、「ときどきある」「よくある」もあわせると96.9%を占める。

小学生の子ども家庭以外での過ごし方の把握状況をみると、「把握している」（「よく把握している」「おおむね把握していると思う」の合計）が94.5%を占め、その一方で「把握していない」（「あまり把握していない」「全く把握していない」の合計）は5.0%であった。

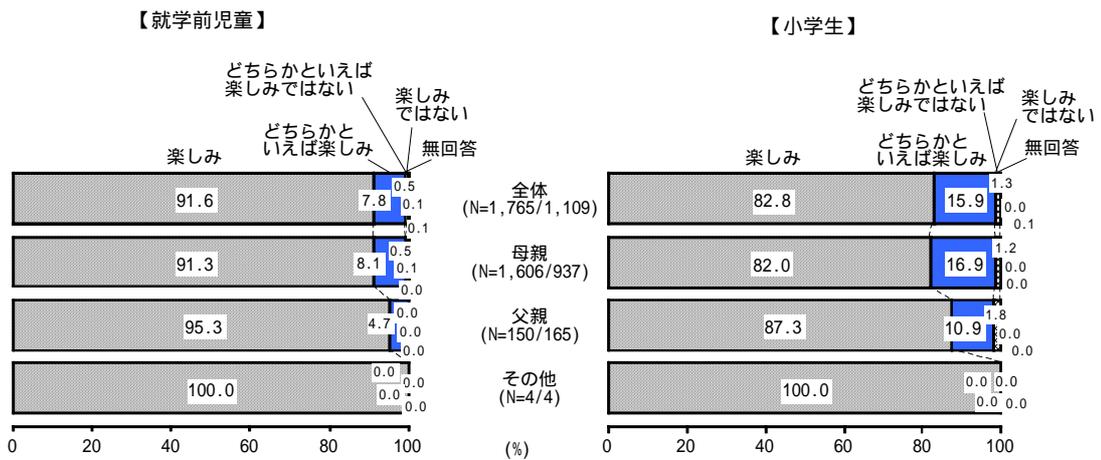
【図 回答者の属性別 子育て意識】

<子育てについて>



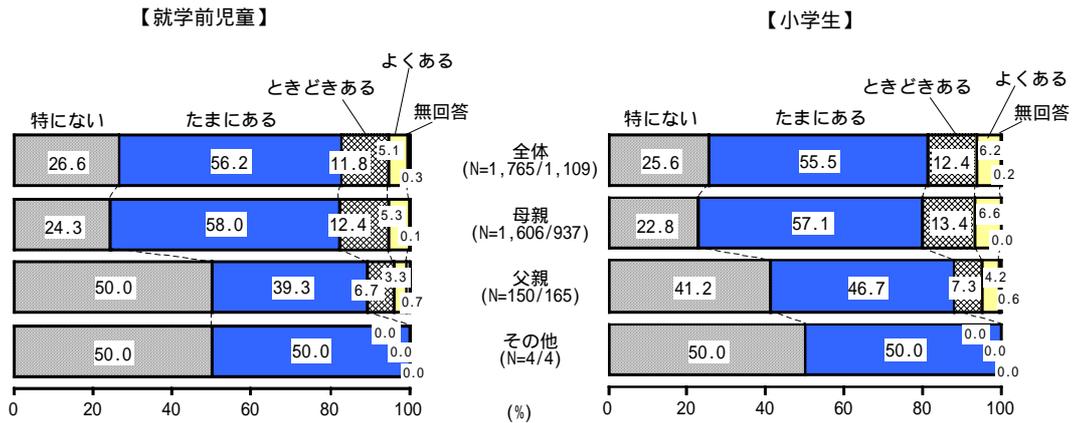
就学前児童では母親（91.8%）父親（95.3%）ともに「楽しい」「とても楽しい」「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の合計が90%台を占め、小学生でも母親（90.0%）父親（92.1%）ともに「楽しい」が90%台を占めている。

<子どもの成長について>



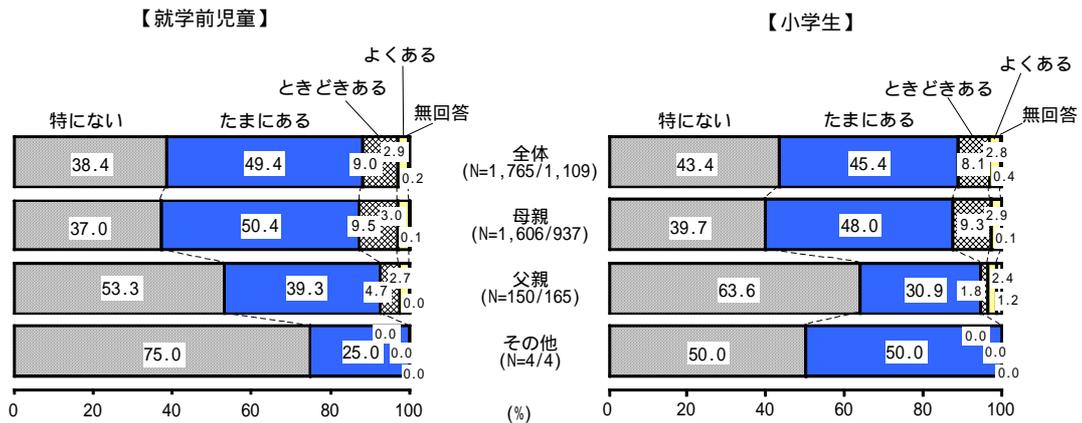
就学前児童では母親（99.4%）父親（100.0%）ともに「楽しみ」「楽しみ」「どちらかといえば楽しみ」の合計がほぼ全数（99%以上）を占め、小学生でも母親（98.9%）父親（98.2%）ともに98%以上を占めている。

<子育てに自信がもてなくなること>



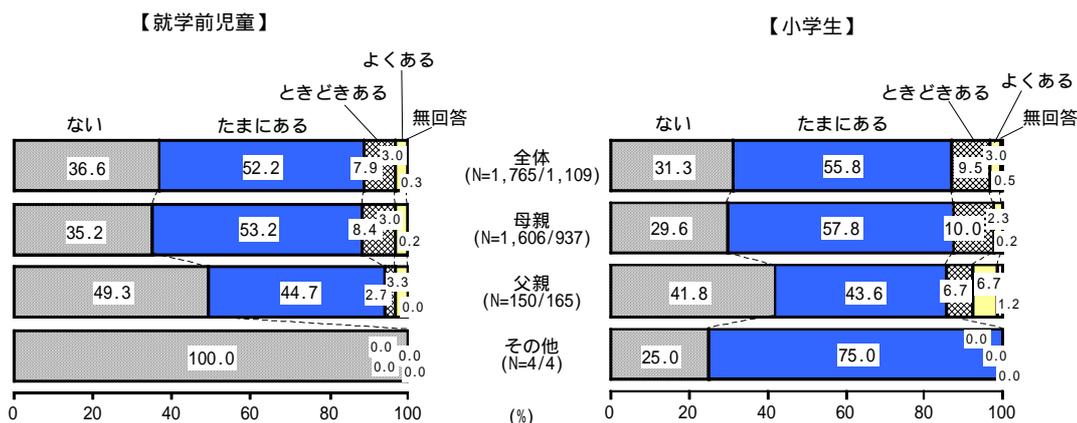
就学前児童ではプラス意識（「特にない」「たまにある」の合計）が、母親（82.3%）より父親（89.3%）の方が高く、小学生でも母親（79.9%）より父親（87.9%）の方が高くなっている。

<子育てが嫌になること>



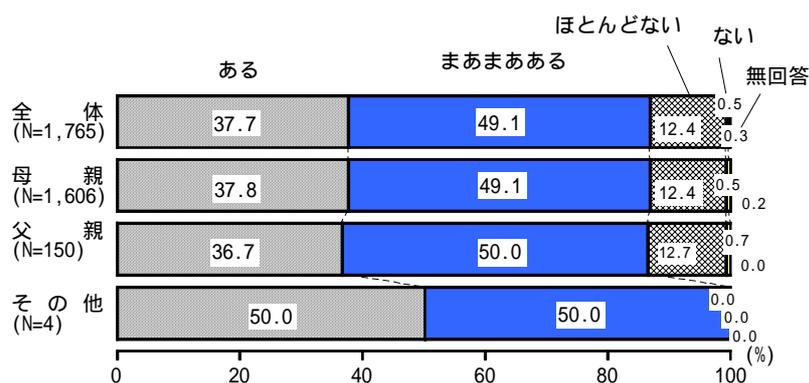
就学前児童ではプラス意識（「特にない」「たまにある」の合計）が、母親（87.4%）より父親（92.6%）の方が高く、小学生でも母親（87.7%）より父親（94.5%）の方が高くなっている。

## <子どもをたたいてしまうことの有無>



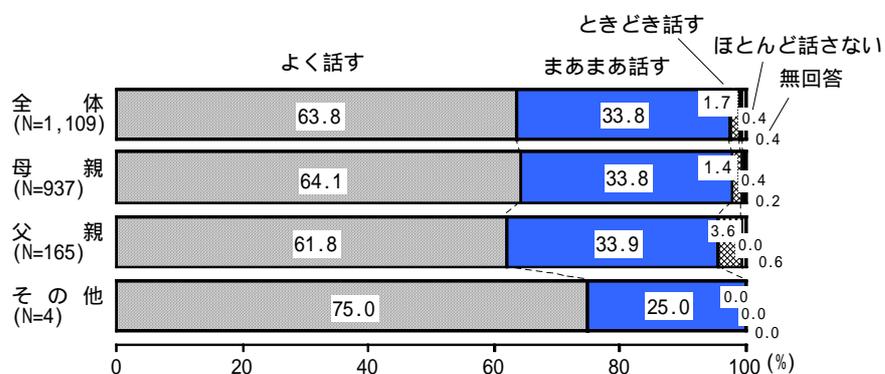
就学前児童ではプラス意識（「ない」「たまにある」の合計）が、母親（88.4%）より父親（94.0%）の方が高いが、小学生では母親（87.4%）の方が父親（85.4%）より高くなっている。

## <子どもとゆったりした気分で過ごす時間の有無（就学前）>



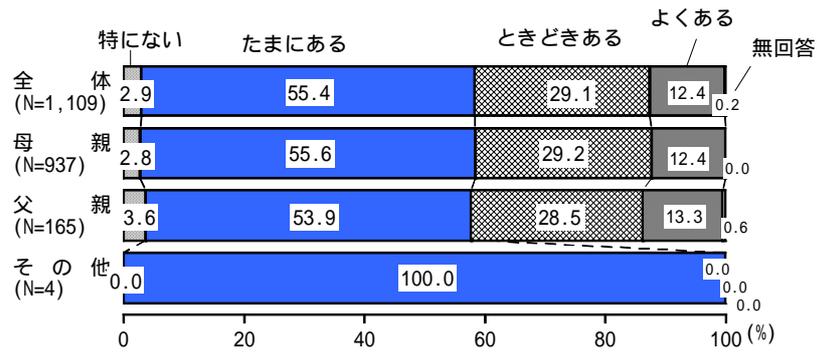
母親（86.9%）、父親（86.7%）ともに「ある」「まあまあある」の合計が86%以上を占めている。

## <小学生の子どもと話す頻度（小学生）>



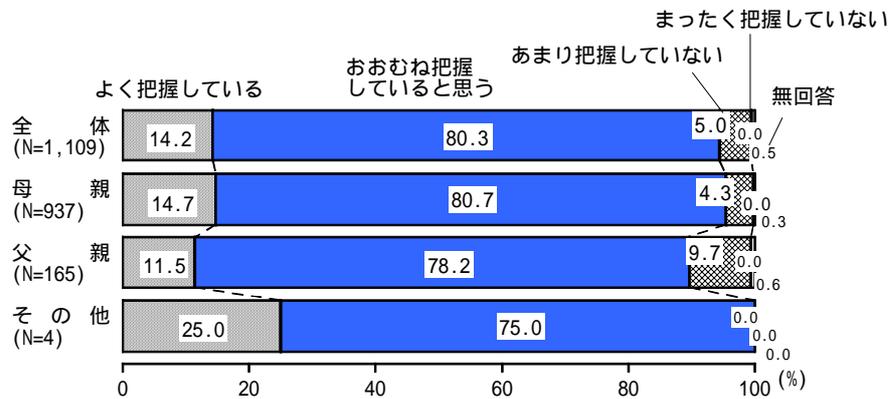
母親（64.1%）、父親（61.8%）ともに「よく話す」が60%台を占め、「まあまあ話す」と合わせると母親（97.9%）、父親（95.7%）ともに95~97%を占める。

< しつけのために厳しくしかることの有無（小学生） >



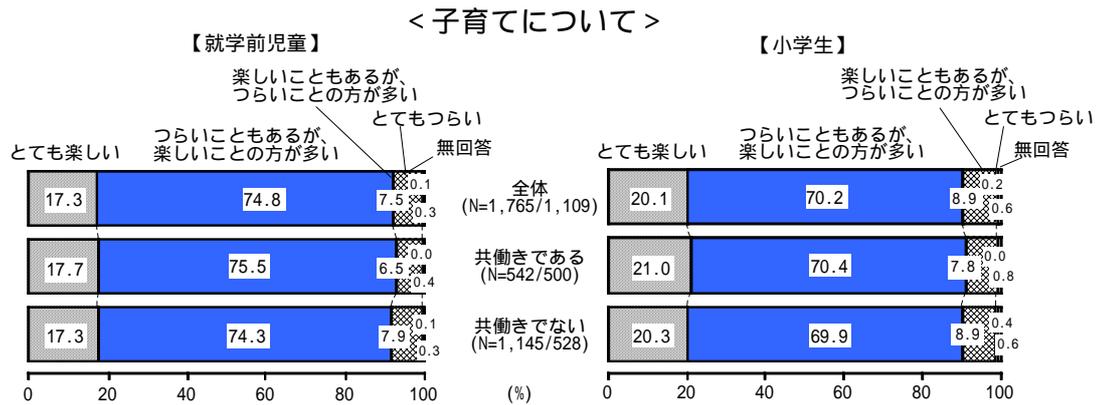
母親（41.6%）、父親（41.8%）ともに「よくある」「ときどきある」の合計が41%以上を占めている。

< 子どもの考えていることや、家庭以外での過ごし方の把握状況（小学生） >

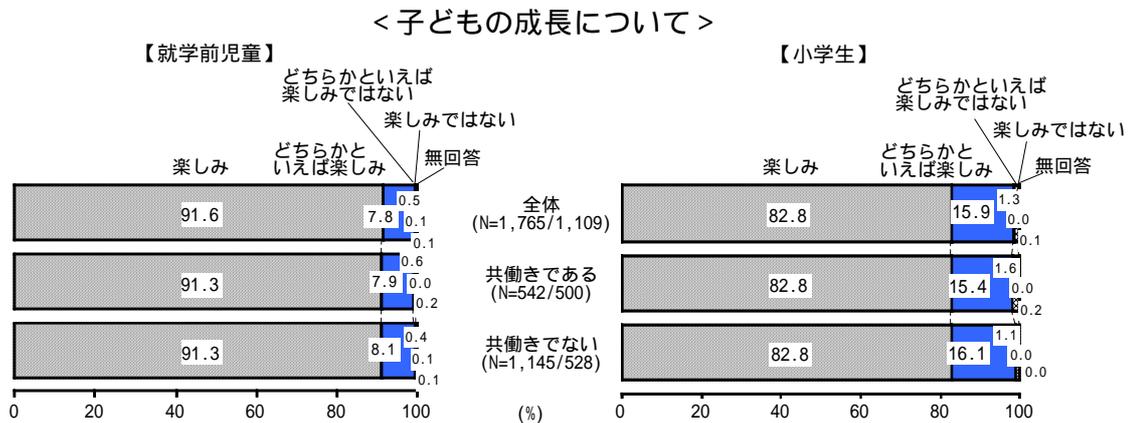


「把握している」（「よく把握している」「おおむね把握していると思う」の合計）という回答が、父親（89.7%）より母親（95.4%）の方が高くなっている。

【図 共働き状況別 子育て意識】

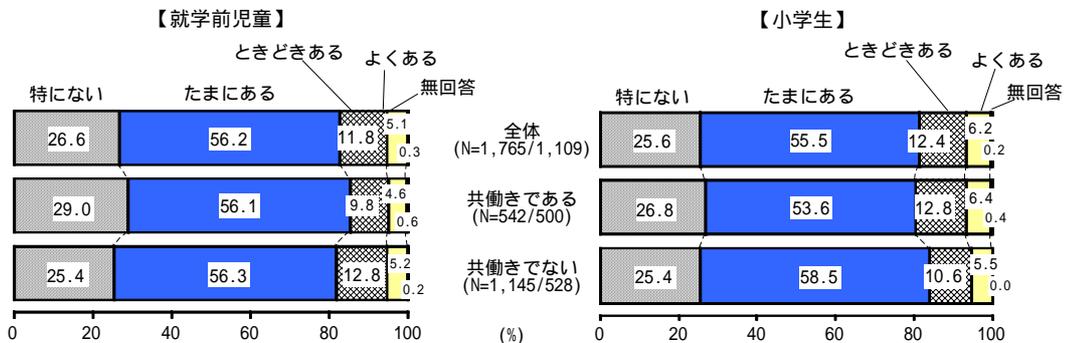


就学前児童では共働きの世帯(93.2%)、共働きでない世帯(91.6%)ともに「楽しい」「とても楽しい」「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の合計が90%台を占め、小学生児童でも共働きの世帯(91.4%)、共働きでない世帯(90.2%)ともに「楽しい」が90%以上を占めている。



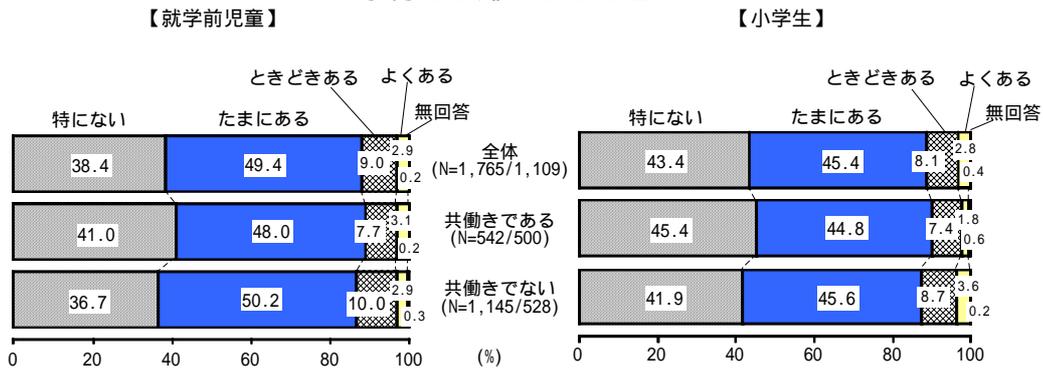
就学前児童では共働きの世帯(99.2%)、共働きでない世帯(99.4%)ともに「楽しみ」「楽しみ」「どちらかといえば楽しみ」の合計が99%以上を占め、小学生でも共働きの世帯(98.2%)、共働きでない世帯(98.9%)ともに98%以上を占めている。

<子育てに自信がもてなくなること>



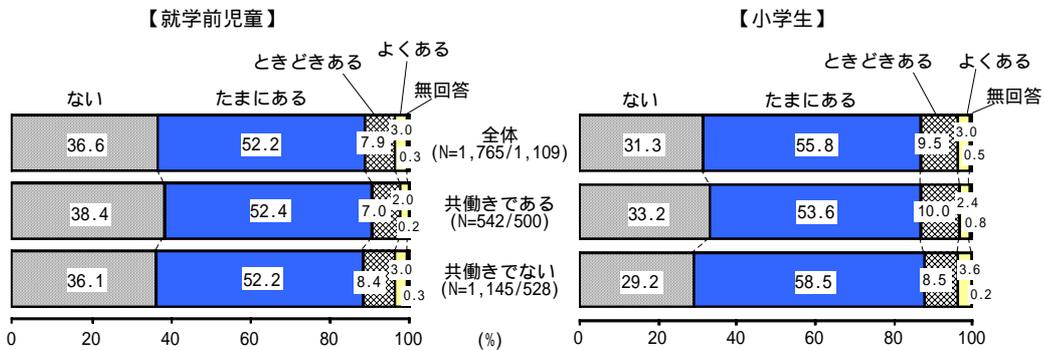
就学前児童ではプラス意識(「特にない」「たまにある」の合計)が、共働きの世帯(85.1%)、共働きでない世帯(81.7%)ともに80%台を占め、小学生でも共働きの世帯(80.4%)、共働きでない世帯(83.9%)ともに80%台を占めている。

### <子育てが嫌になること>



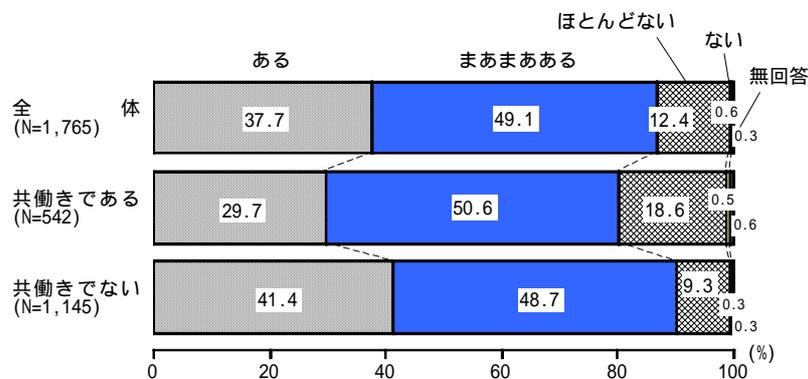
就学前児童ではプラス意識(「特にない」「たまにある」の合計)が、共働きの世帯(89.0%)、共働きでない世帯(86.9%)とともに86~89%を占め、小学生でも共働きの世帯(90.2%)、共働きでない世帯(87.5%)とともに87~90%を占めている。

### <子どもをたたいてしまうことの有無>



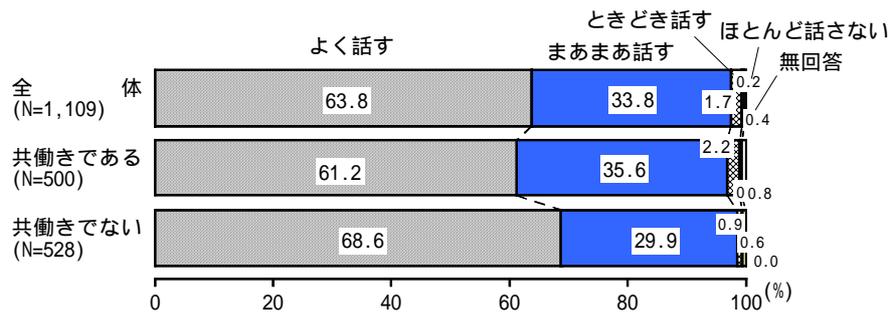
就学前児童ではプラス意識(「ない」「たまにある」の合計)が、共働きの世帯(90.8%)、共働きでない世帯(88.3%)とともに約90%を占め、小学生でも共働きの世帯(86.8%)、共働きでない世帯(87.7%)とともに86~87%を占めている。

### <子どもとゆったりした気分で過ごす時間の有無(就学前)>



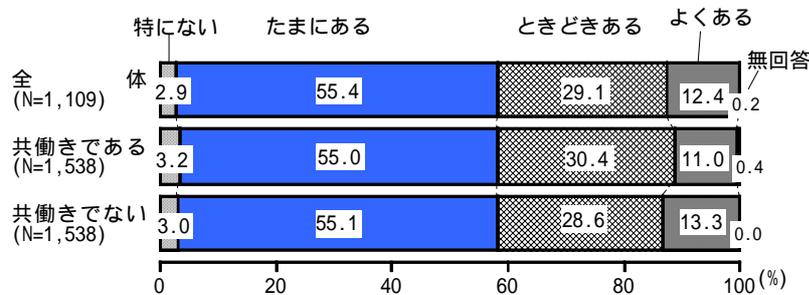
「ある」「まあまあある」の合計という回答が、共働きの世帯(80.3%)より共働きでない世帯(90.1%)の方が高くなっている。

<小学生の子どもと話す頻度（小学生）>



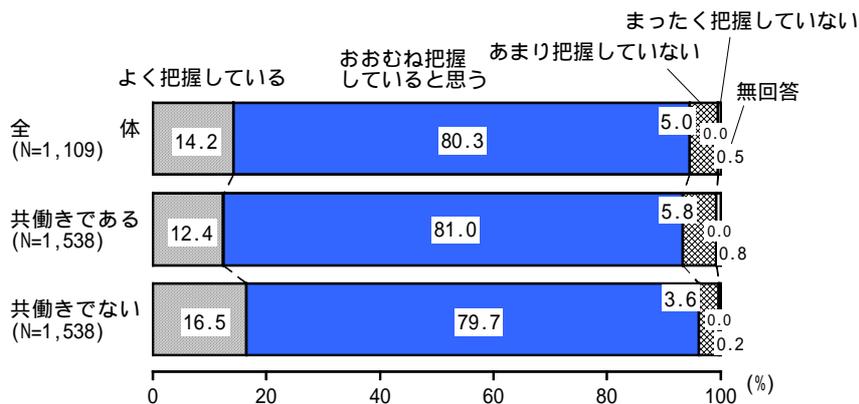
「よく話す」という回答が、共働きの世帯（61.2%）より共働きでない世帯（68.6%）の方が高くなっており、「まあまあ話す」と合わせると共働きの世帯（96.8%）、共働きでない世帯（98.5%）ともに96～98%を占める。

<しつけのために厳しくしかることの有無（小学生）>



共働きの世帯（41.4%）、共働きでない世帯（41.9%）ともに「よくある」「ときどきある」の合計が41%以上を占めている。

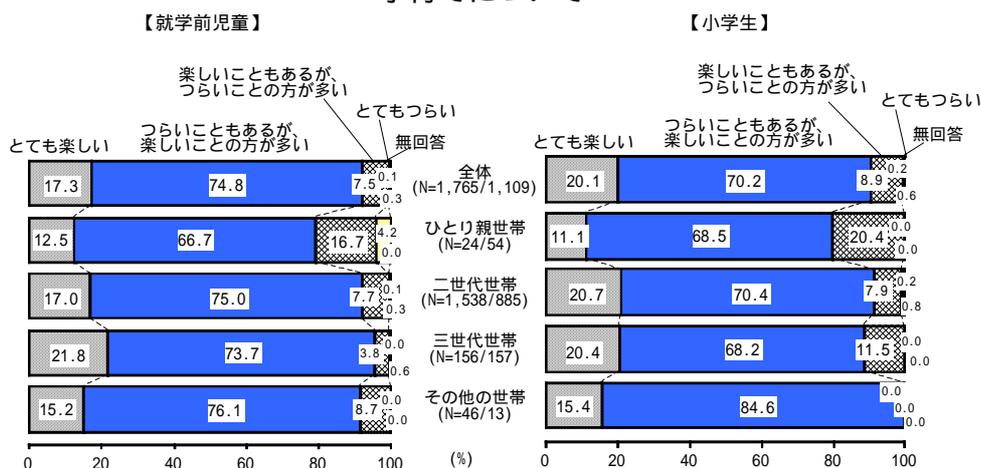
<子どもの考えていることや、家庭以外での過ごし方の把握状況（小学生）>



共働きの世帯（93.4%）、共働きでない世帯（96.2%）ともに、把握している（「よく把握している」「おおむね把握していると思う」の合計）が90%台を占めている。

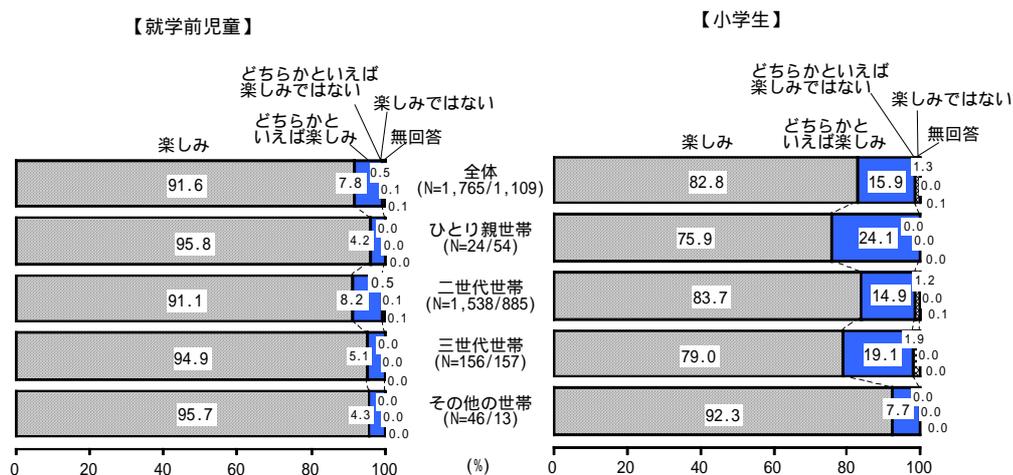
【図 世帯構成別 子育て意識】

<子育てについて>



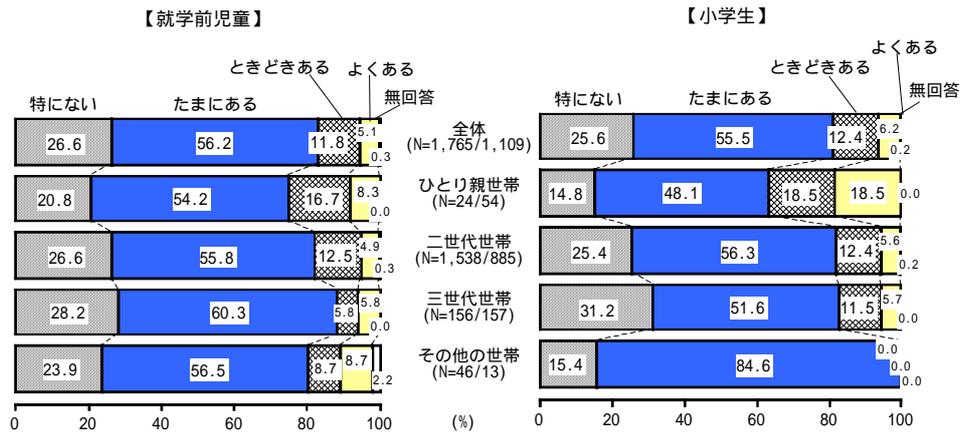
「楽しい」「とても楽しい」「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の合計)との回答は、就学前児童では三世帯世帯が95.5%で最も高く、二世帯世帯が92.0%、ひとり親世帯では79.2%となっており、小学生では二世帯世帯が91.1%で最も高く、三世帯世帯が88.6%、ひとり親世帯では79.6%であった。

<子どもの成長について>



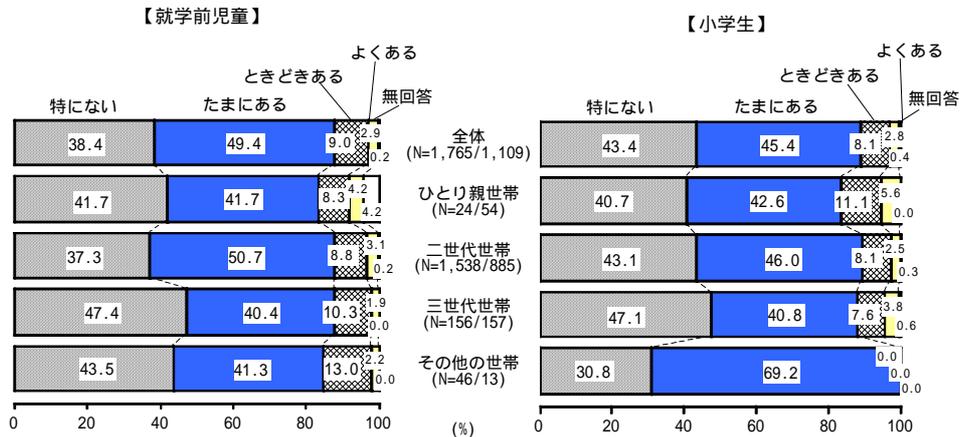
就学前児童、小学生ともにいずれの世帯においても「楽しみ」「楽しみ」「どちらかといえば楽しみ」の合計)が98%以上を占めている。

## <子育てに自信がもてなくなること>



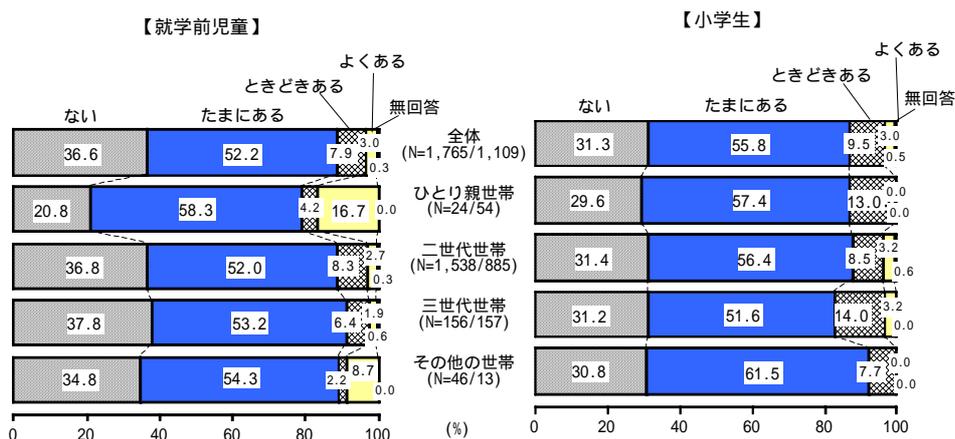
就学前児童、小学生ともにプラス意識（「特にない」「たまにある」の合計）が、三世帯世帯、二世帯世帯で80%台を占めている。

## <子育てが嫌になること>



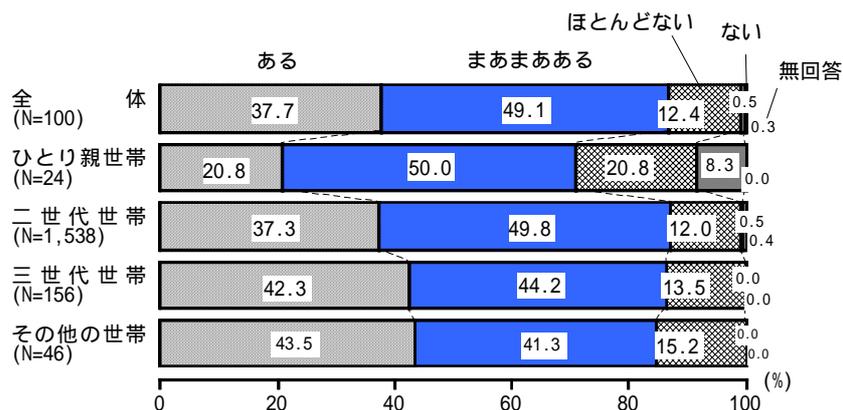
就学前児童、小学生ともにプラス意識（「特にない」「たまにある」の合計）が、いずれの世帯も80%以上を占め高くなっている。

### <子どもをたたいてしまうことの有無>



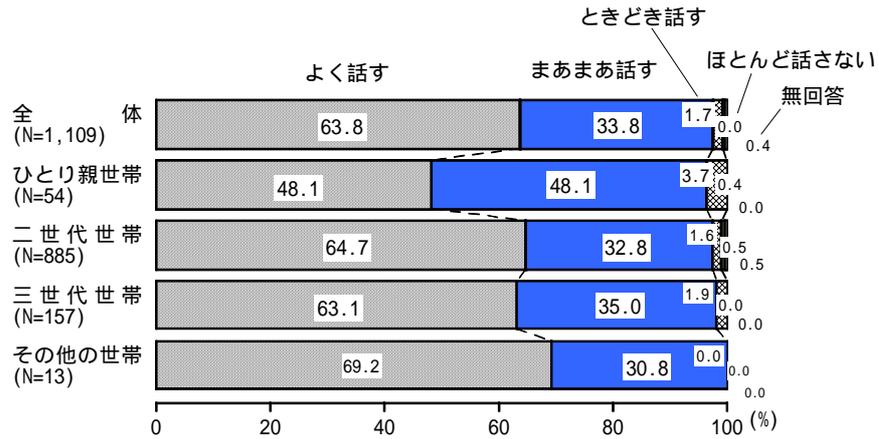
就学前児童ではプラス意識（「ない」「たまにある」の合計）が、三世帯世帯が91.0%、二世帯世帯が88.8%であるが、ひとり親世帯になると79.1%でやや低くなっている。小学生では、二世帯世帯が87.8%で最も高く、次いでひとり親世帯が87.0%、三世帯世帯が82.8%であった。

### <子どもとゆったりした気分で過ごす時間の有無（就学前）>



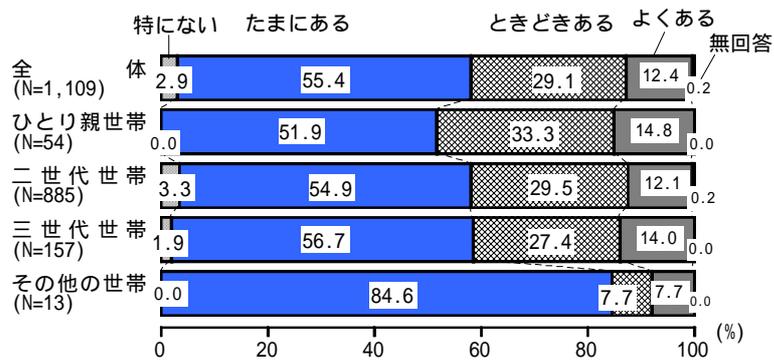
「ある」「まあまあある」という回答が、二世帯世帯（87.1%）、三世帯世帯（86.5%）で約87%を占めるが、ひとり親世帯になると70.8%で他の世帯に比べ低くなっている。

<小学生の子どもと話す頻度（小学生）>



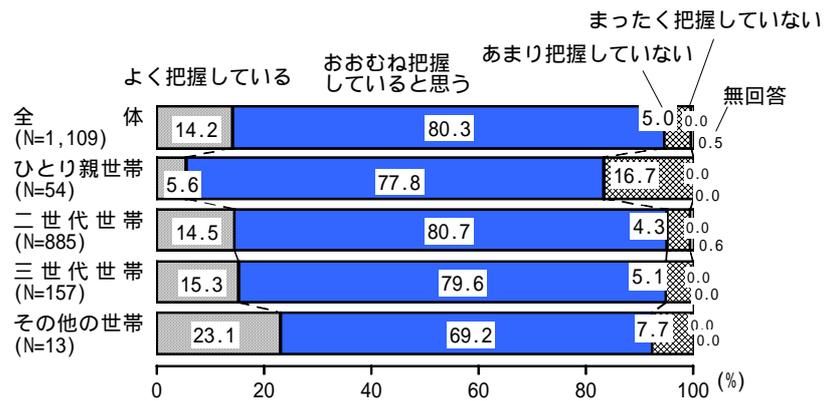
いずれの世帯においても「よく話す」「まあまあ話す」という回答が 96%以上を占めている。

<しつけのために厳しくしかることの有無（小学生）>



「よくある」「ときどきある」との回答は、ひとり親世帯が 48.1%で最も高く、二世帯世帯 (41.6%)、三世帯世帯 (41.4%) も 41%以上を占める。

<子どもの考えていることや、家庭以外での過ごし方の把握状況（小学生）>



世帯構成別にみると、把握している（「よく把握している」「おおむね把握していると思う」の合計）との回答は、二世帯世帯（95.2%）、三世帯世帯（94.9%）が約95%を占めるが、ひとり親世帯になると83.4%で他の世帯に比べ低くなっている。